

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	パラドックス	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.057	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：パラドックス

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

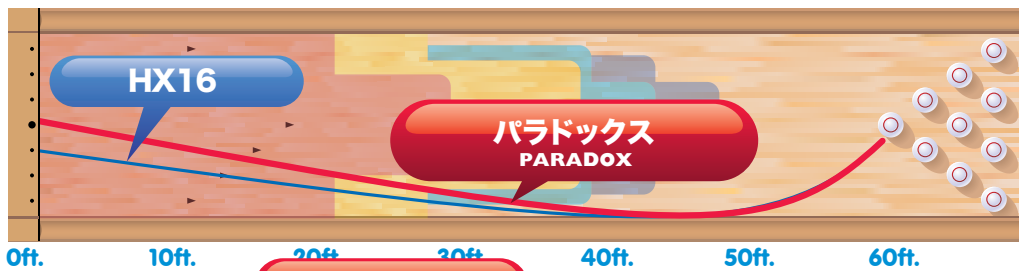
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：HX16

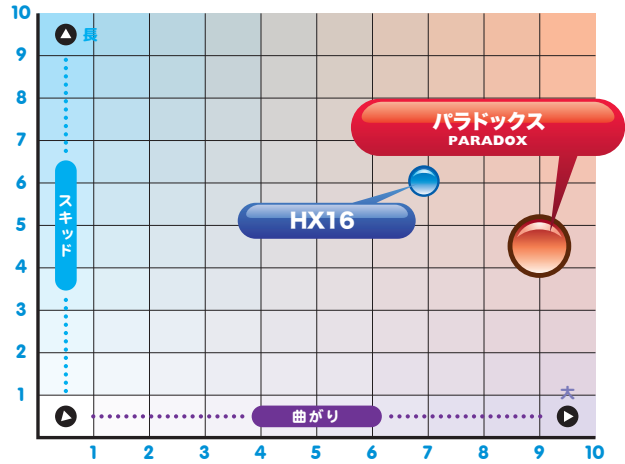
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション	Light Oil	Light to Medium	Medium Oil	Medium to Heavy	Heavy Oil	バックエンドリアクション	Smooth	Smooth to Arc	Arc	Arc to Sharp	Sharp Angle	レンジス	Early Roll	Early to Med	Med-Lane	Med to Late	Late Roll
------------	-----------	-----------------	------------	-----------------	-----------	--------------	--------	---------------	-----	--------------	-------------	------	------------	--------------	----------	-------------	-----------

ボールの評価

今年の2月下旬以降、ナンバーシリーズから新しい方針へと転換を進めたTRACK社。先月からLEGIONが発売されましたが、新しいTechnologyはあえてBowling EXPOでの発表でとなり、その第一弾がこのPARADOXです。

一番の見どころは新開発の”SSF 72 Reactive(Super Soft Flexible)”で、今までのCover Stockの粒子の結合を広げてFlexible(融通のきく柔らかさ)で柔軟性のある凹凸を作りました。その結果72度という表面の柔らかさはキャッチ力に加え、ピンにあたる衝撃も吸収させることのできる次世代のCover Stockを採用しています。

Core TechnologyにはI-Core2.0(Middle Heavy)を使いました。その利点は2層からなる双方ともに比重を変更することができることで、真ん中の比重を上げてRGを2.48までおとして△RGを0,057まで引き上げました。その効果は今までのI-Coreの転がり感を遥かに上回り、体感度は約20%程増して実感できると思います。数値が表すように手から放たれた瞬間から転がり、その回転は衰えることなく転がり続けポケットを貫きます。その曲りはこう表現されます。”Strong Continuous HOOK”。強く持続的に転がり、曲り続けます。Bowling EXPOで試投会があり、PARADOXはEBONITEグループで最も高い評価を受け、発売前からネット上でも高い評価と期待をされています。

PARADOXは発売前から主要なABSプロスタッフには配給され、すでに曲りや転がりを確認できると思います。

一新されたTRACK社のTechnologyはこのPARADOXから始まりまっています。まずはみなさんのその目で他社メーカーと比較をしてください。引けを取らないPerformanceを感じられるはず。

特記事項

次世代の柔軟性の高いFlexibleなCover Stockはキャッチの強さとピンアクションの柔らかさ双方を兼ね備えます。とにかくよく転がり、減速することなく転がり続ける強い曲りを是非体感してください。